

高瀬川直轄管理50年 高瀬川流域治水シンポジウム

昭和47年に高瀬川が直轄管理となり今年で50年となりました。小川原湖周辺の自然環境や生業及びこれまでの事業の歩みを振り返るとともに、近年全国的に発生している大規模な豪雨災害を踏まえ、流域のあらゆる関係者が協働して流域全体で行う「流域治水」への転換を進める為に、地域の方々との今後の「流域治水」を考えるシンポジウムを開催しました。

- 日 時：令和4年11月7日(月)13:30-16:30
- 場 所：青森県東北町コミュニティセンター未来館
- 聴講者：130名 ➤youtube視聴回数：122回（11/8時点）

パネルディスカッション

テーマ『気候変動を踏まえた高瀬川流域治水の実践に向けて』

コーディネーター：八戸工業大学名誉教授 佐々木 幹夫 氏
パネリスト：

- 国土交通省東北地方整備局河川部長 板屋 英治 氏
- NPO法人青森県防災士会上北支部長 芋田 廣治 氏
- 七戸町長 小又 勉 氏
- 東北町長 長久保 耕治 氏
- 気象予報士 奈良岡 希実子 氏
- 青森県県土整備部長 宮本 健也 氏



開会あいさつ



東北町長
長久保 耕治 氏

基調講演

『甚大化する気象災害に備える』
気象予報士 奈良岡 希実子 氏



環境学習の取組紹介

東北町立甲地小学校での
環境学習の取り組み
教諭 西田 早苗 氏



「高瀬川流域治水シンポジウム」は、
（一社）東北地域づくり協会 からの依頼で実施される予定です。

高瀬川流域治水シンポジウム

高瀬川直轄管理50年の歩みと流域治水の実践

日時 令和4年11月7日(月)
13:30~16:30 (開場 13:00)

会場 東北町コミュニティセンター未来館
〒039-2654 青森県東北町東郷字種ノ沢1-1-94 TEL.0178-56-4779

【第1部】高瀬川直轄管理50年
東北町立甲地小学校での環境学習の取り組み・教諭 西田 早苗 氏
高瀬川直轄管理50年の歩み・高瀬川河川事務所長 齋藤 茂則 氏

【第2部】流域治水シンポジウム
基調講演「気候変動と、気象予報士 氏」
気象予報士 奈良岡 希実子 氏
国土交通省東北地方整備局 河川部長 板屋 英治 氏
NPO法人青森県防災士会上北支部長 芋田 廣治 氏
七戸町長 小又 勉 氏
東北町長 長久保 耕治 氏
気象予報士 奈良岡 希実子 氏
青森県県土整備部長 宮本 健也 氏 (注：中略)

【主催】高瀬川流域治水協議会、高瀬川流域治水推進委員会、高瀬川流域治水推進協議会、高瀬川流域治水推進協議会
お問い合わせ先 高瀬川河川事務所 庶務課 受付時間 8:30~17:15 (土日祝除く) TEL.0178-28-9344

高瀬川直轄管理 50年の歩み

高瀬川河川事務所長
齋藤 茂則 氏



流域治水の事例紹介

東北地方整備局
河川部長 板屋 英治 氏



50年の歩みパネル展示



会場内の様子



参加者からの感想、意見

- ・気候変動により雨が増え、全国で水害が増加している為、対策が必要な事が分かった。
- ・各分野での取り組みを知ることができて、とても良かった。
- ・避難訓練が大事ではないかと改めて思った。
- ・住民アンケート調査結果で、住民の意識向上が必要だと思った。
- ・佐々木先生からの「自分の命は自分で守る」為に考えることも流域治水の取組みと改めて感じた。